

1 「バル」の開催

(1) 「バル」のねらい

住民同士が語りながら飲食する場を設けることで、交流を促進するとともに、村の現状・課題や今後の方向性について、議員や村職員も交えて気軽に意見交換を行えるようにするもの。

(2) 開催実績等

H29. 12. 22 (金) 18:00~21:00 集落活動センター結いの里 参加者68名

H30. 1. 30 (火) 18:00~21:00 集落活動センター結いの里 参加者47名

H30. 2. 23 (金) 18:00~21:00 集落活動センター結いの里 参加者65名

※H30年度も、6月以降、月1回開催を予定。

(3) 参加者

保育園児からお年寄りまで、幅広い層の村民が参加。村議会議員や村職員も参加。

(4) 議論の内容

- ・輸送手段の確保について（公共交通のない本村において、地域のために自家用無償運送を行いたいとの住民の意見が出され、実際の取組につながった。）
- ・白滝の里の改修について（平成32年度実施予定の改修工事に向けて、村としても動き始めており、その改修の方向性などについて意見を伺った。）
- ・漁業振興について（ワカサギの孵卵器設置などについての意見が出され、村としても検討を始めたところ。） 等

(5) 成果

- ・普段交流の無い住民同士が交流することにより、村民の地元への愛着や一体感の醸成につながった。
- ・村民が気軽に議員や村職員に話せる関係作りができた。

(6) 今後の取組の方向性

- ・バルの場を活用し、例えば飲食を始める前に、短時間、村政のトピック等の情報を提供し、参加者と議論する時間を設ける。

住民を巻き込んだ政策議論の場の設置

2 今後の取組の方向性 政策議論の場の設置

(1) 「バル」における課題

- ・ 飲食をする場であることから、十分な政策議論を行うためには限界がある。
- ・ 大人がお酒を飲んでいるところで、子供たちが夜遅くまでいることは教育上どうなのか、といった意見も出されているところ。

(2) 政策議論の場の設置

- ・ 土佐町が実施中の町政懇談会を参考に、下記のような議論の場を設ける。

実施主体	執行部
対象者	村民全員（子供も含む）
場所	村内2カ所程度
時期	6月～7月
日時	平日の夜または土日の昼間
所要時間	1～2時間程度
テーマ	村政に関するトピック（貨客混載事業等）
進行	①村からの説明、②①について質疑（村執行部と村民のやりとりの繰り返し）

※9月の村勢フォーラムにおいて、町村総会の困難さについて説明するとともに、村民の村政への関心を高めていく。

（「模擬村民総会」については、実施するかどうかも含めて検討中。）